

# 「メディアの方に知っていただきたいこと ～食品添加物」を作成して

2012.6.19

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www/life-bio.or.jp>

佐々義子

sassa@life-bio.or.jp



## 本日のメニュー

不安の理由

リテラシー向上

リスクコミュニケーション

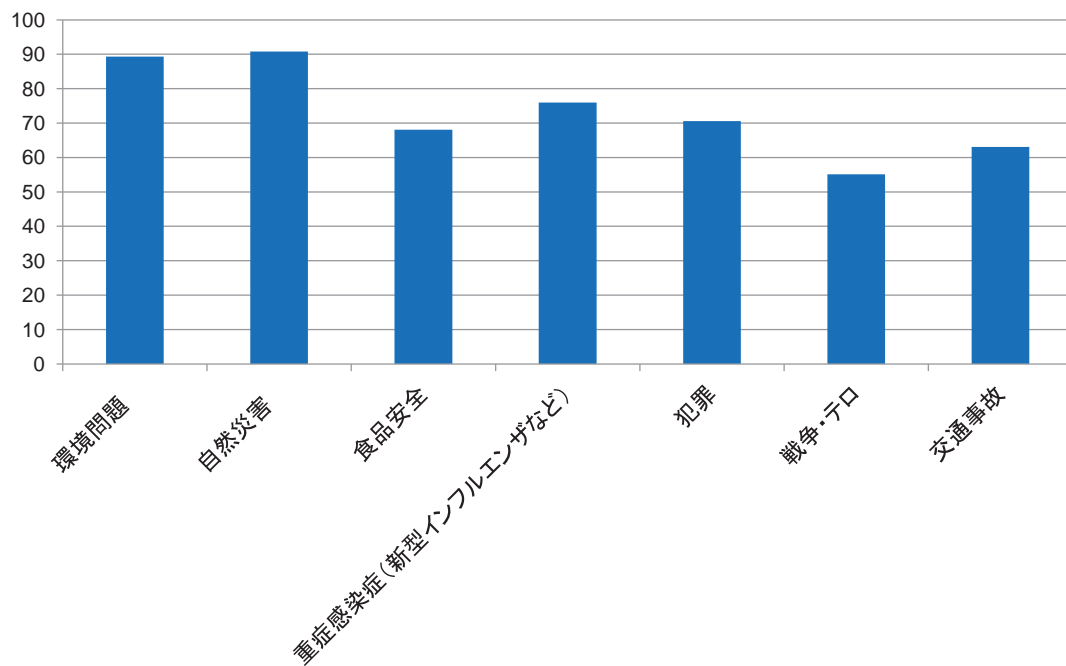
食品添加物の10項目

「メディアの方に知っていただきたいこと」作成

# 不安の理由

## 食に不安を感じる人

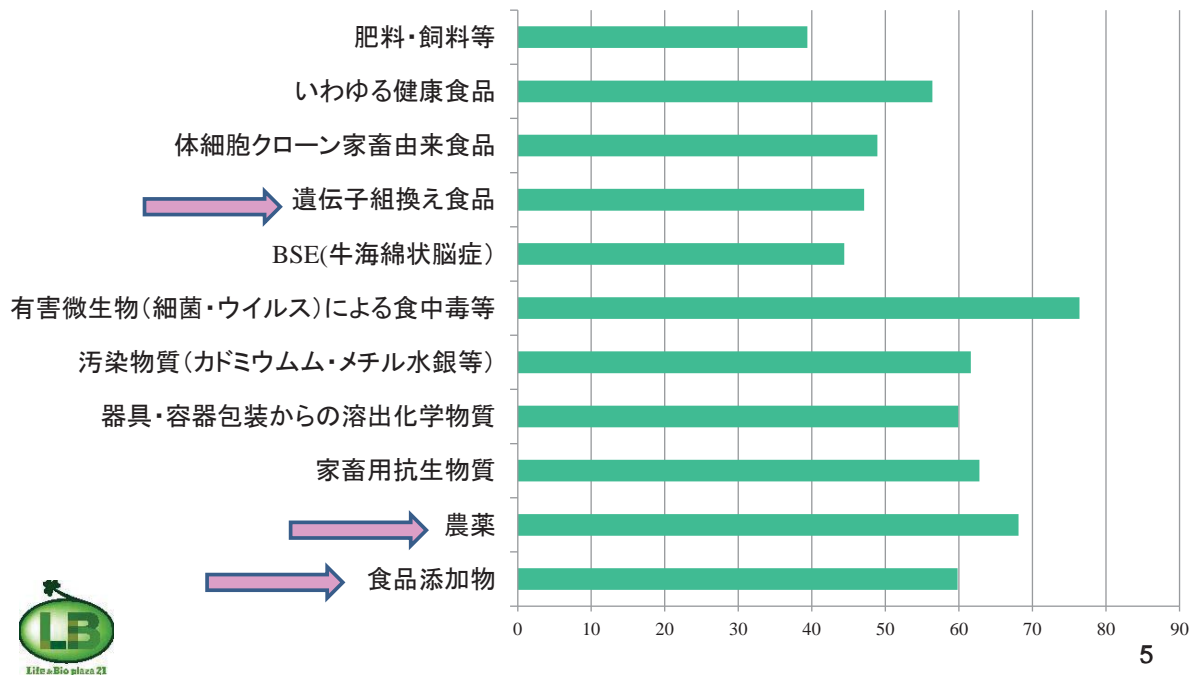
2010年度食品安全委員会 N=401



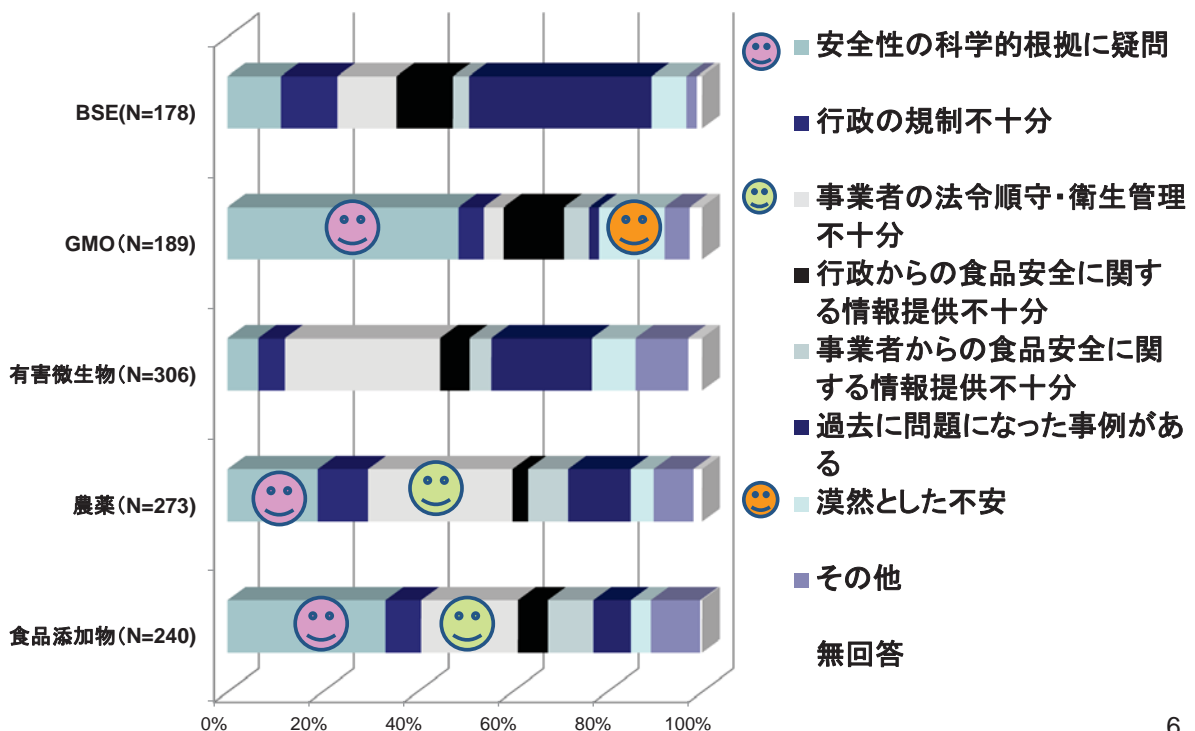
# 食の不安の理由(2010年食品安全委員会モニターアンケート)

遺伝子組換え食品は2005年74.7%(N=456)から47.1%に減少 (N=401)

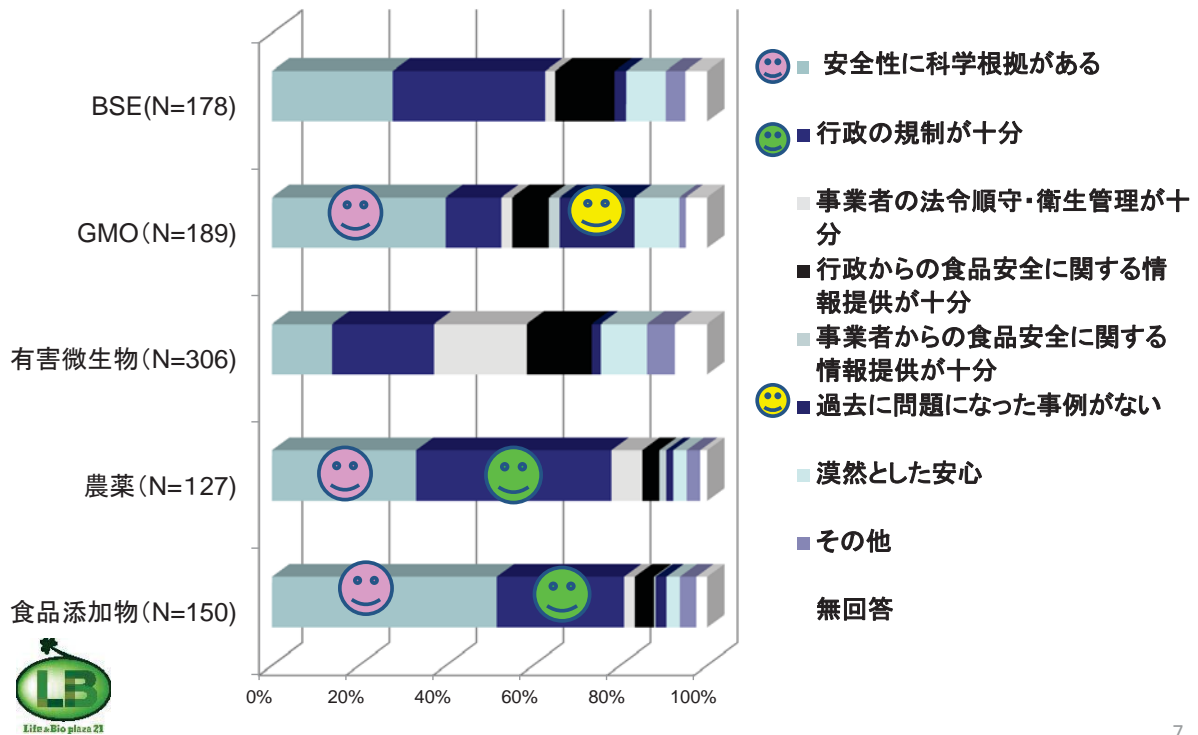
## 不安の程度(「非常に不安・ある程度不安」と回答した人)



## 不安の理由



# 不安を感じない理由



7

## 嫌われ者三兄弟復権のために

規制が不安の理由にも、安心の理由にもなっている

### 食品添加物の場合

規制について知っている人は安心しているが、

○規制があることを知らない人がいる

→安全性確認の仕組みを広く知らせる

○事業者が信用されていない

→健康被害がない食品も回収され、社告が掲載される

→メディアにがんばっていただきたい！

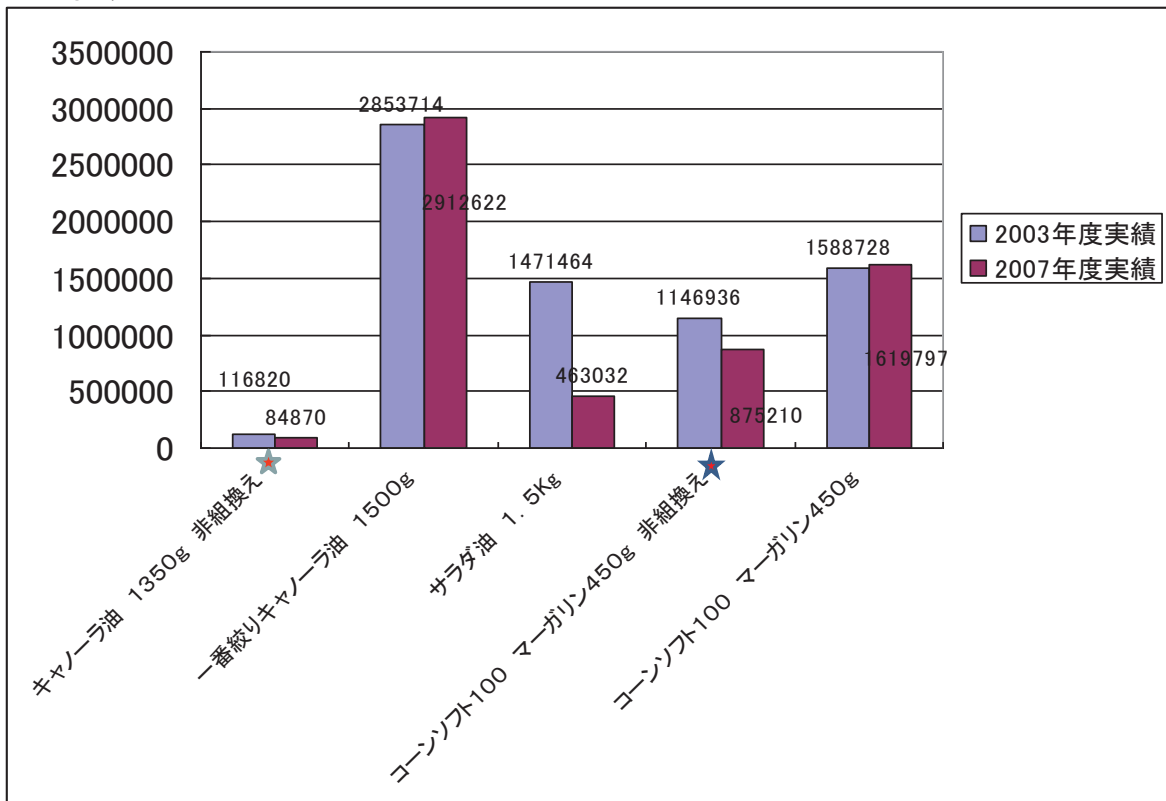


8

# 市民の本音はどこに



## COOPの不分別表示された食用油の卸実績 本数



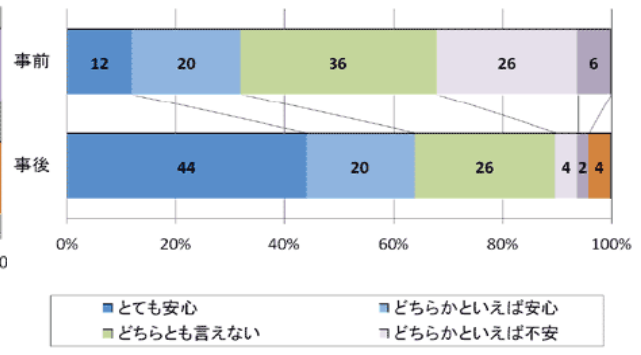
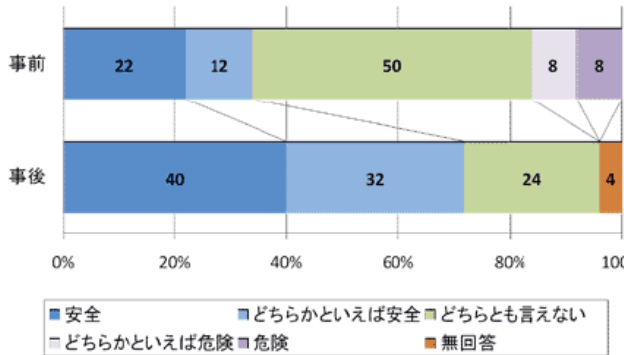
# 害虫抵抗性遺伝子組換えトウモロコシの試食 試食後、不安が減少

遺伝子組み換え農作物は安全か？

遺伝子組み換え農作物を食べることに対しての安心感は？

Q: あなたは、遺伝子組み換え農作物を食べても安全だと思いますか？

Q: あなたは、遺伝子組み換え農作物を食べることに対してどのように感じますか？

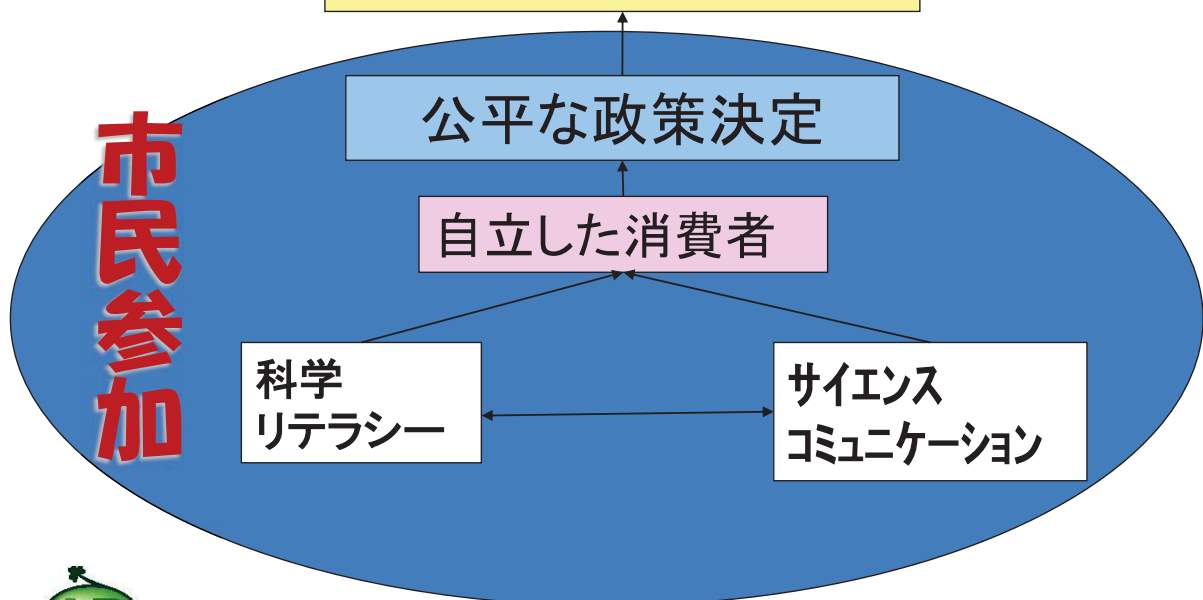


シンジェンタ神座研究所(静岡県)  
2009年8月8日50名中48名が試食  
(見学前後にアンケート実施)

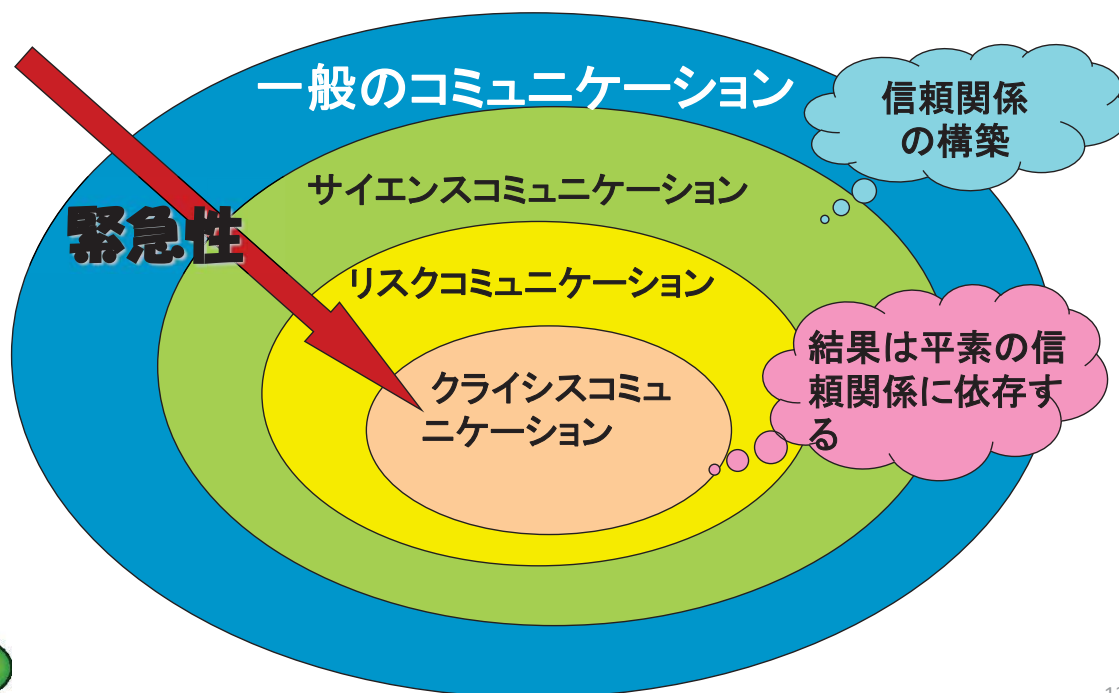
農業生物資源研究所(つくば市)  
2009年7月11日25名中23名が試食

## パブリックエンゲージメント 科学リテラシーとサイエンスコミュニケーション

科学と社会の健全な関係



# サイエンスコミュニケーションとは？



13

## リスクコミュニケーションのゴール

- ・パニックにならずに考えられる
- ・社会の一員としての責任を果たす (FAO Asia Net より)



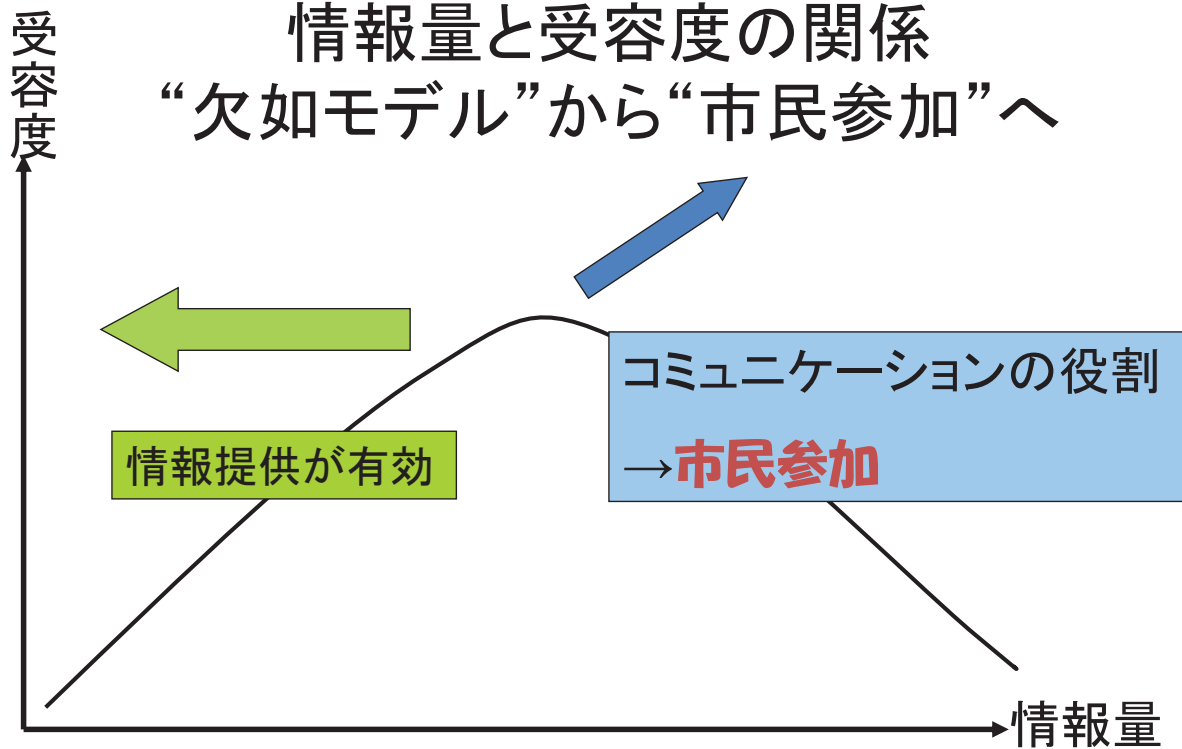
- ・安全と安心を分けて考えることができる (リスク評価とリスク管理の役割の違い)
- ・リスクのトレードについて考えられる

唐木英明先生のお話から  
「不安の理由を脳の構造から考える」  
新しい脳(前頭連合野)と古い脳(大脳辺縁系)

リスコミはいつでも、どこでも、何度でも必要

14  
14

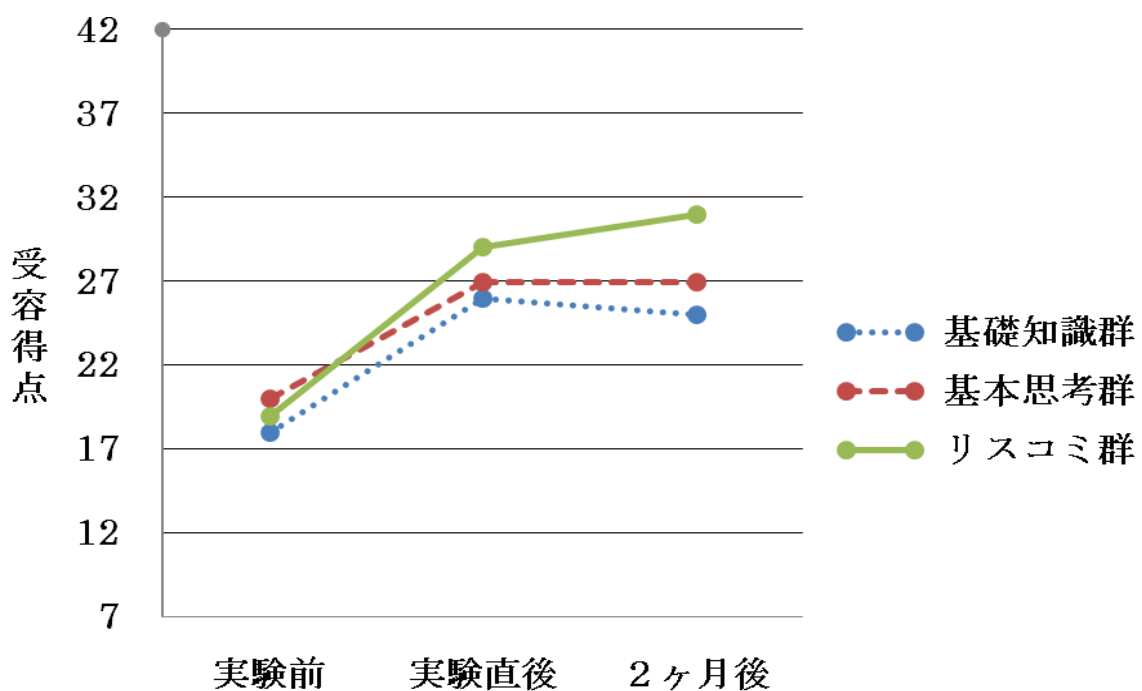
# 情報量と受容度の関係 “欠如モデル”から“市民参加”へ



**メディアにがんばっていただきたい!**

## リスクコミュニケーションの必要性

リスクに関する情報提供がGMOの受容得点を高める



注. 受容得点の範囲は7点～42点の範囲 (中間点は24.5点)

田中 豊 2009 遺伝子組換え食品の受容におけるリスクリテラシーの重要性  
日本リスク研究学会第22回研究発表会講演論文集, 161-166



# 「メディアの方に知っていただきたいこと」



## 小島正美氏の提案

働きかけをしよう

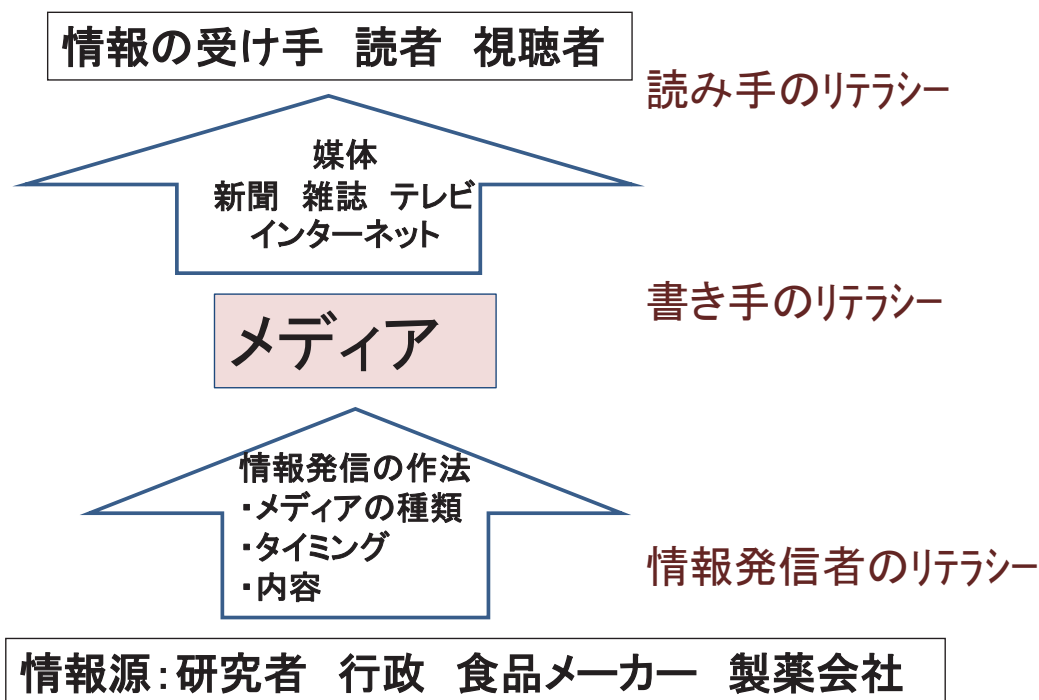
意見を表明する

記事を評価する

情報を使いやすくする



# 情報の流れと各々のリテラシー



19

## GMO編 構成

10項目の要約

遺伝子組換え食品

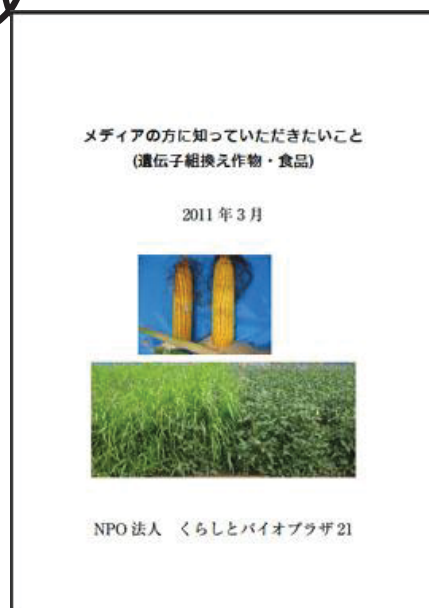
遺伝子組換え作物の環境影響

科学的な情報の読み方と伝え方

参考サイト/問合せ先

↓ ここからダウンロードできます

<http://www.life-bio.or.jp/topics/pdf/topics461.pdf>



20

## 10項目の要約 記者は超多忙、サマリーが必要！

1. 栽培のメリット
2. 企業の種子支配はあり得るのか★
3. 遺伝子組換え技術とは
4. 医薬品では既に使われている遺伝子組換え技術★
5. 遺伝子組換え食品の安全性
6. 遺伝子組換え食品の表示★
7. 遺伝子組換え作物は生物多様性を失わせない
8. 従来品種改良と遺伝子組換え技術による品種改良の違い
9. 除草剤耐性を持つ雑草
10. 生態系への影響



今までは、**遺伝子組換え技術、環境影響評価、食品の安全性評価の説明、「守りの説明」が中心だった**

21

# 食品添加物編 10項目



# 安全編

## 1. 食品添加物の安全性は科学的に評価されている

食品添加物は、安全性と有用性が確認され、厚生労働大臣が指定する「指定添加物」と、いわゆる天然添加物である「既存添加物」、「天然香料」、「一般飲食物添加物」に分類される。

食費に占める加工食品の割合は増えている



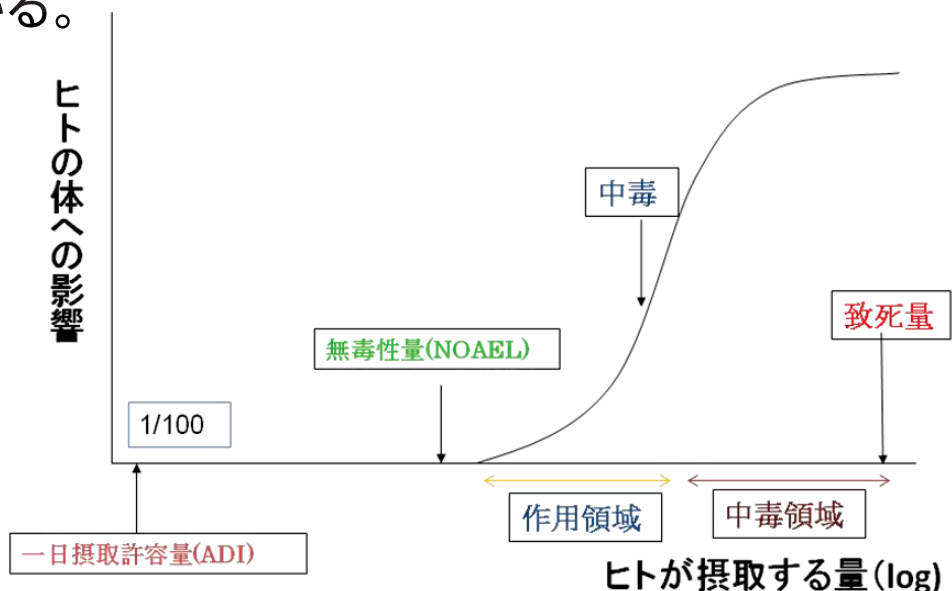
当然、食品添加物のお世話になることになる



23

## ADI の考え方

各種の毒性試験により、食品添加物の安全性は科学的に評価されている。また、一日許容摂取量(ADI)が決められ、それを超えないように使用基準が決まっている。



24

## 2. 食品添加物は基準に従って製造され、 使用されている。

食品の安全性を確保するために、食品添加物には、必要に応じて**成分規格**や**使用基準**が定められている。食品製造業者は、「成分規格」に適合するように作られた食品添加物を、「使用基準」を守って使うことになっている。

成分規格や基準は「**食品添加物公定書**」に記載されている。

消費者が実際に摂取している食品添加物の量は、実際に売られている食品を購入して分析する「**マーケットバスケット方式**」により調査し、ADIを超えないことが定期的に確認されている。



## 役割編

### 3. 食品添加物がないと食中毒のリスクが高まる

最大の食品のリスクは、食中毒

保存料：原因菌の繁殖抑制、食中毒リスク低減、

食品の日持ち向上

平成22年患者数

約26,000人



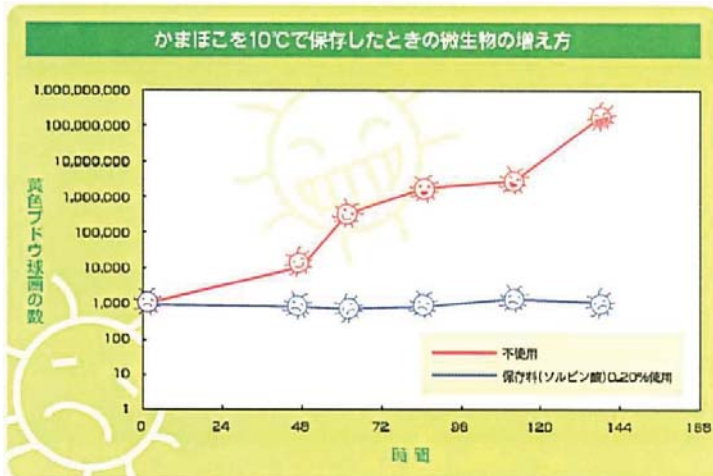
## 4. 食品添加物がないと経済的損失が!

保存料の使用を減らすと

- 食品の賞味期限が短くなる
- 冷凍・冷蔵保存のための電力
- 廃棄や流通などのコスト増大

試算:水産練り製品の保存料使用を5%減らす

→消費者余剰(消費者にとってのメリット)が189億円減少



市民の不安

保存料を加えると、

- 本来、食べられないような食材を食べさせられるのではないか?
- 異常に賞味期限が引き延ばされているのではないか?

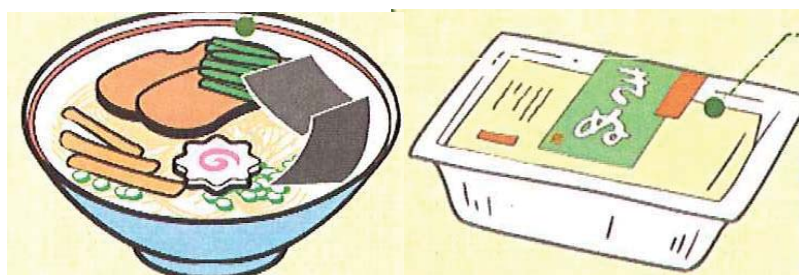
27

## 5. 食品添加物なしにはつukれない食品がある

豆腐を固める「にがり」

中華麺に色と形状を与える「かんすい」

→「にがり」が食添だと知らない人も多い



28

## 6. 食文化の豊かさを支える

はたらき	食品添加物
食の味・香りに関するもの	甘味料、酸味料、苦味料、調味料、調味料、香料など
食品の食感に関わるもの	ゲル化剤、増粘剤など
食品の色に関わるもの	着色料、漂白剤、発色剤など



29

## よく言われる誤解

### 7. いわゆる天然物添加物は、 化学合成された添加物よりもリスクが高い

平成7年 食品衛生法が改正されるまで、化学合成品と異なるいわゆる天然添加物に法的規制はなかった。

指定添加物: 安全性確認を経て、厚生労働大臣が指定する。

既存添加物: リスト化され、安全性確認が順次行われている(発がん性、使用実態がないなどで120品目がリストから削除)。

## 8. 「無添加」、「添加物不使用」は 安全性と無関係

誤解1「食品添加物を使わない方が安全」という認識

誤解2「『無添加』表示食品には添加物が一切使われていない」という認識

無添加の表示に法的な制約はない

誤解を助長する広告・宣伝

消費者の商品の合理的な選択の妨げ

企業の商品開発に悪影響を与える



31

## 9. 「食添による健康被害」に科学的根拠はない

食品添加物の安全性は、どんな食品にもリスクはあるとする「リスク分析」の考え方に沿って、評価されている

○アレルギーの原因は食品添加物か

→アレルギーは各個人の体質によるものであり、全般的に適用することは正しくない

○複数の食品添加物の複合作用が健康に悪影響を与えるのか

→個々に安全性が確認された食品添加物の複合影響については、安全性を十分に確保できるとする調査報告がある。（「食品添加物の複合影響に関する情報収集調査報告書」食品安全委員会 2006年）



32



## 10. 食品添加物には複数の働きがある 用途によって表示も異なる

食品添加物は単一または複数の用途で使われる

例) L-アスコルビン酸

- ・栄養強化剤として
- ・酸化防止剤として

例) ビタミンCの表示

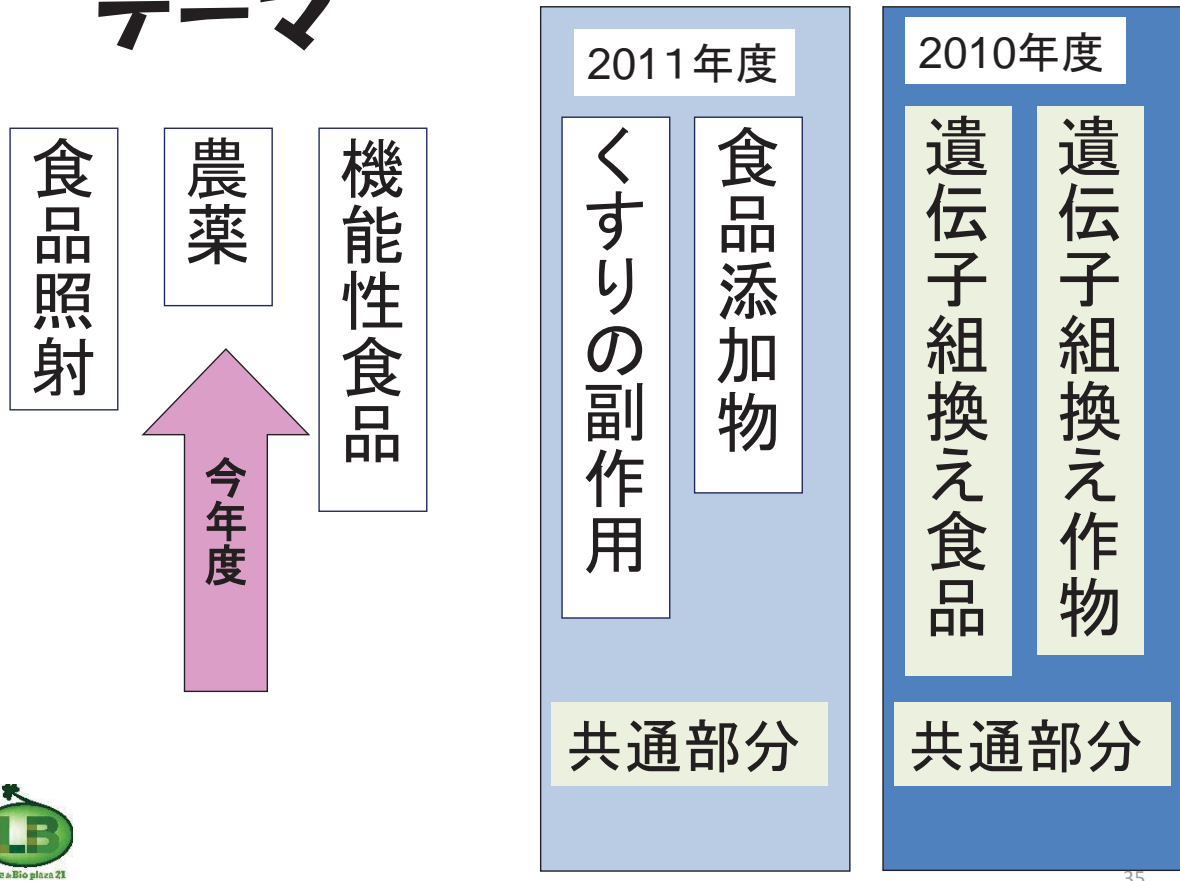
- ・酸化防止剤、製パン性改良、栄養強化等の用途の場合は酸化防止剤(ビタミンC)
- ・栄養強化目的の場合は、表示免除または「ビタミンC」と表示



いろいろな誤解  
正しい情報が必要！  
新しいパートナーシップへ



# テーマ



35

## 同じ関係は色々ありそう 「天然・自然」と「人工」

合成着色料	天然色素
遺伝子組換え作物	従来育種作物
バナナのカリウム	福島のカシウム
合成医薬品	漢方薬
化学肥料	有機肥料
農薬	減農薬・有機栽培



36

# 平成24年度の予定

遺伝子組換え作物・食品編

食品添加物編

コメント、アドバイスをお待ちしています

## 平成24年度

- ・「農薬編」の作成→3部作完成へ
- ・「くすいの副作用編」の作成



38

ご清聴ありがとうございました

NPO法人 くらしとバイオプラザ21

<http://www.life-bio.or.jp>

毎月第2金曜日 茅場町バイオカフェでお会いしましょう



39